

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	いろいろな形をかこう		
	単元(題材)の目標	○△□をなぞり描きできる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 本校小学部に在籍する小学3年生男子4名を対象とした。ICT機器の操作については、学校でアプリ遊び(遊びの指導、知育アプリの操作をねらった学習)を通して簡単なタッチ操作ができる。また、4名のうち2名は、線書きの課題に取り組んでおり、水性ペンを使って短い縦線や横線を描くことができる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用したICT機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad, Apple TV, プロジェクタースクリーン		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Safari, Google	アプリマーク  	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	児童が、新たに学級に導入されたプロジェクタースクリーンへの興味・関心を高め、簡単な使い方について知るとともに、書字学習の前段階である様々な線描きを、遊びを通して学習することをねらって実施した。		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 導入で○△□の歌の映像を見せて、形について確認してから、スクリーンに○△□の図形を記入し、教師が手本としてなぞり描きした。その後児童が順番になぞり描きを行い、全児童終了後には、それぞれが描いた図形をみんなで見せ合うなどして、友達の良かったところを共有できるようにした。 指先の力が弱い児童については、ペンに教師が手を添えるなどして線描きができるよう補助した。			